

社協だより

第197号

2023. 3. 1

点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/

福祉もちつき会を開催しました！



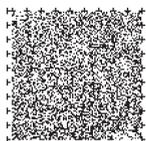
令和4年12月17日(土)に殿町商店街で開催した福祉もちつき会

もくじ

- 社会福祉法人役職員研修会
令和4年度地域福祉セミナー…………… 2
- 地域の方(直方谷尾美術館)
情報の広場(のおがたこども宅食 みんなのごはん)
図書室(生き方)…………… 3
- お知らせ(登録ヘルパー募集・にこにこ教室・第48回
ボランティアのつどい・会員募集のお願い)
ご寄附…………… 4

新型コロナウイルスにより中止されていた、社会福祉協議会主催で歳末に行われていた「福祉もちつき会」が何と殿町商店街の一角で行われました。餅をつくという風習は、年末の日本の風物詩でもあり、大勢の人が餅をつく幸せを味わっていました。従来の場所から商店街に場所を移したことで、より多くの人が餅つきを楽しむことができました。昨年は福祉まつりも商店街で開催されたことにより、多くの皆さんがまつりの縁に触れることができました。弱者と言われる人達への関心を深めていただける良い機会になったことと思います。第1回ということで改善すべきところは多々あったと思いますが、工夫を重ねていけば開催の主旨に沿ったまつりになることでしょう。市民の皆さんが福祉により関心が高まり「住みたくなる直方」になっていくような画期的な一年だったと思います。

(石黒)



kantera

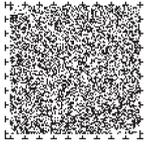
懐かしい年の瀬の風物詩
「餅つき」

カンテラ



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。





社会福祉法人役職員研修会

「持続可能な福祉社会を目指して」



〔仮称〕直方市保健福祉センターは、令和7年度のオープンを目指して準備が進められています。新しい施設への期待が高まる中、高い付加価値や将来にも通じる有効な運営手法が求められています。高齢者、少子化問題は、当市も含め地方都市共通の課題と言えますが、保育園や幼稚園等の児童分野の施設をはじめ、福祉を支えているあらゆる施設等は、人口減少という転換点を見据えた事業展開が急務となっています。今回の研修会は、持続可能な福祉社会を形成するための視点や戦略等について、官民がそれぞれの役割を学び、そして共有することを目的として開催されました。

「持続可能な開発目標」

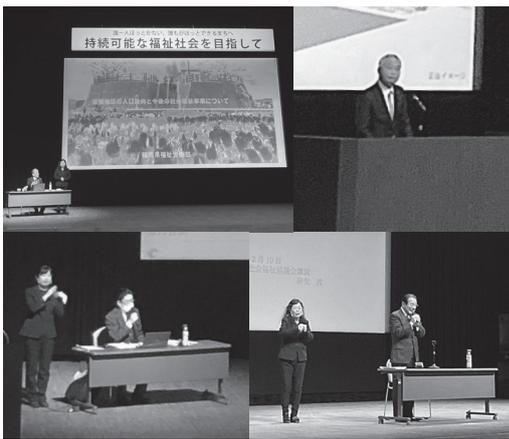
2015年9月に国連で採択され、2030年までに世界が達成すべき17の目標の3番目に「すべての人に健康と福祉を」と、うたっています。そこで2月10日（金）、ユメニティのおがた大ホールで研修会を開催しました。直方市内及び直轄地区等近郊の社会福祉法人の役員、行政関係者、福祉施設職員等々、一般の方々へ案内し、約350人もの大勢の方々に参加されました。

まず、基調講演では、懐かしくお変わりない元福岡県知事の麻生渡氏が登壇しました。名物成金饅頭を買い求められた話など、直方での話題を交えながら、研修会はスタートしました。各テーマは

「持続可能な社会福祉とは」、続いて、福岡県福祉労働部次長の本田航二氏の講演「直轄地区の人口動向と今後の社会福祉事業について」、最後は、(株)佐々木総研の峯良輔氏の研修「社会福祉法人関係法令の指導実例を踏まえた実務上のポイント」で締めくくりました。

今回の研修会は、直方市と共催、近隣市町村の社協と行政の後援にて開催し、一般市民も多く参加されました。熱心にメモを取る姿が研修会を盛り上げました。参加された方の感想には「社会福祉法人として社会のためになるように取り組んでいきたい。」との声がありました。

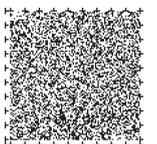
(広田)



研修会の詳細は直方市社会福祉協議会ホームページまで

令和4年度地域福祉セミナー

「ひとりではないと気づいて」



令和5年1月21日（土）に令和4年度地域福祉セミナーを開催しました。「価値観のチャンネルを合わせる」講演の中で講師が何度も言われた言葉です。不登校・引きこもり等、学校や社会に出ることが難しい若者を対象に訪問支援を行っている、NPOスチューデント・サポート・フェイスの代表理事である谷口仁史氏は、あるべきことをきっかけに若者支援に乗り出しました。不登校や引きこもりになるきっかけは様々ですが、本人自身が抱えている課題だけではなく、家族や学校等、周りにある環境が影響することも少なくありません。また、家族はその状況からの突破口を探して、様々な機関に相談を繰り返します。しかし、単発的な支援が繰り返され、本当の解決に繋がらないことも多いのが現状です。多職種が支援を行っているにも関わらず、過去の支援の情報が共有されていないために、その支援がさらに複雑化かつ深刻化していきます。

谷口氏はアウトリーチを用いて、社会的に孤立する子どもや若者の実態を徹底的に明らかにしました。従来のように様々な機関がカウンセリングを行うのではなく、学校や家庭等の環境問題に直接アプローチをしました。

ここで重要になるのが「価値観のチャンネルを合わせる」ことです。難しく考えず、本人が好きなことや興味があ



ることを受け入れ、否定をしないことです。

セミナーに参加された方の感想を紹介します。

「ひきこもりが社会問題になっていることは知っていました。しかし、解決することは難しいと思っていました。人間の複雑な心の奥底まで寄り添うことが大切ということ、その難しさを学んだと同時に解決に努める人が先入観や固定観念を捨て、ニュートラルな心で向き合うことが大切であり、長く悩んでいる方には一人ではなくチームで取り組むことも必要だと学びました。」

この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡ください。



地域に根ざした独自の活動を紹介します。

地域の輪

レトロな美術館に足を運んでみませんか

直方谷尾美術館

レトロな洋館造りの「直方谷尾美術館」の始まりは、明治屋産業創業者の故・谷尾欽也氏が昭和16年建造の医院内部を改装して、平成4年に設立した私設美術館でした。その後、平成12年にご遺族から直方市へ美術館と作品を寄贈されて、翌年、市立の美術館として開設しました。国から国登録有形文化財(文化庁)、近代化産業遺産(経産省)にも認定されています。収蔵作品は、青木繁の絵画をはじめ、福岡県内の作家の作品が多く、約2千点を数えます。敷居が低く、気軽に来館される美術館を目指して、年4回作品を入れ替える常設展、年3回テーマを設ける企画展、秋には貸館による個展、講師と体験するイベントのワークシヨップなどを開催しています。さらに子ども

もたちにも美術館に親しんでもらえるように、学校へ出向いたり、訪問を受け入れたりしています。また、子どもスタッフが半年をかけて展覧会を企画する取り組みも行っています。このように長年の地域に根ざした活動が認められて平成26年には地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しています。

取材をとおして、展示品の中では至近距離で観られる魁皇像(胸像)が相撲道に邁進する決意が感じられて何か胸に響くものがありました。なによりも一人でも多くの人に訪れてもらえるような地道な取り組みが印象に残っています。

美術作品に加えて、往時を偲ばせるレトロな(展示室奥の茶室を含めて)文化財としても十二分に楽しめるおすすめ的美術館だと思いました。奥にはレトロな外観からは想像もつかないような素敵な和室もありまし

た。SNS映えしそうなスポットでしたよ。
一度、ぶらりと立ち寄ればお気に入りのお宝が見つかるかもしれません。入口のスロープはインターホンを押せば、手助けしてくださいませ。
また、古町商店街にあるレストランポーノが併設された「アートスペース谷尾」は、入館料は無料でガラス工芸が展示されています。こちらもどうぞご覧ください。
詳しくは公式サイトをご覧ください。(藤田)

子どもスタッフ

子どもスタッフ



子どもスタッフ

情報の広場

のおがたごども宅食 みんなのごはん

NPO法人みんなの社会応援団では、直方市内にお住まいの18歳未満の子どもさんのいるひとり親世帯の方に毎月1度、無料で食品や日用品をお届けする事業に取り組んでいます。食品等をご自宅へお届けすることをきっかけに、安心できるつながりを築き、様々な支援に繋げることを目的としています。お届けする食料品や日用品の寄附、一緒に活動されるボランティアさんも募集中です。



<https://minnano.or.jp>
LINEID: @minnanoline



「生き方」

京セラ・第二電電の創業者

著者 稲盛 和夫

発行 サンマーク出版

直方市立図書館 所蔵

欲に迷い、戸惑うのが人間の性。ほうっておけば、際限なく財産や地位、名誉を欲しがり、快楽におぼれかねない。魂というものは、「生き方」次第で心は気高くもなれ卑しくもなる。人生の真理は、寝ても覚めても、強烈に思いつづけ目の前の仕事にわき目もふらず懸命に働き精進することで体得できる、と。

今まで誰も試みなかったことに挑戦するときには、周囲の反対や反発は避けられません。でも、「できる」という確固とした思いが描けるならば大胆に構想を広げていくべきです。このことについてこんな逸話が。冒険家の大場満郎さんは世界で初めて、北極と南極を徒歩横断した人です。命がけの冒険を讃えた稲盛氏に、「いえ、私に勇氣はありません。それどころか、大変怖がりです。臆病ですから細心の注意を払って準備をします。冒険家が大胆なだけだったら死に直結します。」

(広田)

登録ヘルパー募集中！詳細は裏面をご確認の上、お気軽にご連絡ください。

「にこにこ教室」参加者募集中!

運動不足は体力や筋力が衰えて思うように体が動かなくなったり、脳への刺激が減って認知症につながってしまう要因にもなります。しかし、高齢者が突然ハードな運動を始めると転倒やケガをしてしまう心配があります。

「にこにこ教室」では、誰でも体への負担が少なく気軽に行うことができる体操や、脳トレなどを行っていて、健康維持や体力アップにぴったりの教室です。

まずは簡単な体操で体を動かすことから始めてみませんか?

- 日 時 毎週金曜日 10時30分～12時
- 会 場 直方市中央公民館
- 参加費 1回 200円
- 問合せ 直方市社会福祉協議会 担当/和田
電話 (0949) 23-2551



直方市社会福祉協議会 個人・団体・法人会員募集のお願い

「誰ひとり取り残さない」ために、皆さんの力が必要です。

直方市社会福祉協議会では、「誰ひとり取り残さない」の理念の基に「福祉のまちづくり」を進めています。しかし、地域住民の方々や団体・企業の皆さんの応援なくしては十分な活動が行えない状況にあります。誰もが安心して暮らすことができ、ともに生きる豊かな地域社会の実現のために、ぜひ、皆さんのお力を貸してください。

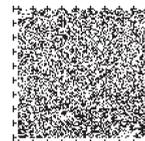
- 個人会員 1口 1,000円～
- 団体会員 1口 5,000円～
- 法人会員 1口 10,000円～

皆さんの善意が大きな力になります!

北小学校での春の別れ。全児童が校門までつくるアーチを退職される校長は腰を屈めてニコニコとくぐりながら、今度2年生になる男子を見つけた。そして、校門まで抱き歩いて「S君、頑張るんだよ。」と言われた。重い知的ハンディを持つS君も今は44歳。校区の普通学級を経て地域で暮らしている。今も彼は同級生やその家族にも声をかけられたり、かけたり。公民館の出ごと、コロナ前の社協や各ボランティア団体への参加など「私はここにいますよ。」と。(田中)

編集後記

「登録ヘルパー」 募集します!



ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。

- 資格 介護職員初任者研修課程修了者
(ホームヘルパー2級以上可)
- 活動時間 7時から21時の間(時間は相談の上)
- 賃 金 (時給) 900円～1,860円
- 問合せ 直方市社会福祉協議会 総務係

第48回直方市 ボランティアのつどいを開催します

北九州市傾聴ボランティア「ひだまりの樹」の代表である毛利暁子氏のご自身の体験を元に「聴く」ということについて、お話をさせていただきます。傾聴は相手の心をくみとり、寄り添うものです。傾聴について学び、ボランティア活動や普段の生活の中で活かしてみませんか。

- と き 令和5年3月21日(火祝)
13時30分～15時
- ところ 直方市中央公民館 第3学習室
- 主 催 直方市ボランティア連絡協議会
直方市社会福祉協議会
- 共 催 障がい者問題を考える直方市連絡会議
- 参加費 無料
- 申込み TEL・FAX・メールなど

ご寄附

ありがとうございます。

令和4年11月11日

令和5年2月10日

9件 合計金額 112,505円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄附金

知古 (故) 大島 麗子

一般寄附金

森 正彦
障害者の住みよい
風土づくりをすすめる会

未使用はがきと切手

匿名 6件

ご加入

ありがとうございます。

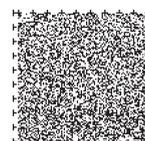
令和4年11月11日

令和5年2月10日

6件 合計金額 19,500円
(お名前は承諾された方のみ掲載、加入順、敬称略)

新規加入会員

田代 武裕
匿名 5件



車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせ下さい。

